



株式会社明治学院サービスは、
学校法人明治学院の100%出資会社です。
学校の周辺業務を事業化し効率的効果的な
各種サービスの提供を行い、
その収益を教育事業に還元することを
目的としています。

【主な業務内容】

◆人材派遣ビジネス

明治学院（明治学院大学、高等学校、中学校等）及び教育機関や他学校を中心に学校事務に特化した人材派遣を行っています。学校関連企業として相応しい質の高いサービスの提供に努めています。

◆明治学院白金チャペルでの結婚式

当事者のいずれかが、同窓生、現・元教職員、法人役員またはそれらの近親者の方であればお申し込みいただけます。本学はプロテスタントのキリスト教信仰を建学の精神としており、礼拝に準じる儀式としての挙式を行います。

◆学生総合保険・海外旅行傷害保険・火災保険・自動車保険（バイクを含む）・医療保険などの代理店業務を行っています。

◆白金校舎パレットゾーンの食堂・横浜校舎のインターナショナルカフェの運営管理をしています。

◆新入生・在校生に対するお部屋探し・住替えのご相談受付、明治学院大学女子寮「セブンレンス館」の運営管理をしています。

◆大学ロゴグッズ、バハアカデミーのCD、自動販売機での飲料の販売をしています。



株式会社 明治学院サービス

〒108-0071 東京都港区白金台1-2-37
Tel 03-5421-1555 Fax 03-5421-1556
URL: <http://meijigakuin-s.co.jp/>

【お問合せ先】

明治学院同窓会事務局 〒108-8636 東京都港区白金台 1-2-37 TEL 03-5421-5190（FAX 03-3441-0970）（事務取扱い時間 9:00～16:00）
<http://meigaku-dosokai.jp>

ヒラヤマホーム

千葉県成田市
平山泰之
2009 年国際学部卒



ヒラヤマホーム

SHOREBREAK

神奈川県茅ヶ崎市
高野芳男
1969 年高校卒



SHOREBREAK

「明学ストリート」には
現在23社にご出店
いただいております。
皆様からのご紹介、
ご出店をお待ちしております。

北雪酒造

新潟県佐渡市
羽豆 大
2009 年法学部卒



北雪酒造

蕎麦空

三重県鈴鹿市
田久保浩貴
1979 年社会学部卒



蕎麦空

懐石・仕出し りんと

東京都立川市
青柳佳代子
2002 年社会学部卒



りんと

モダン亭太陽軒

埼玉県川越市
樋口晃寛
2014 年経済学部卒



モダン亭太陽軒

第一ゴム

北海道小樽市
藤本雅彦
1982 年経済学部卒



第一ゴム

川越第一ホテル

埼玉県川越市
伊藤幾造
1968 年経済学部卒



川越第一ホテル

松波酒造

石川県鳳珠郡能登町
金七えり子
1973 年英文学科卒



松波酒造

たるしえ

北海道小樽市
中野 諭
2013 年経済学部卒



たるしえ

岸商店

静岡県熱海市
岸 秀明
1972 年法学部卒



岸商店

山本工業

東京都荒川区
山本好政
1980 年英文学科卒



山本工業

竹宝堂

広島県安芸郡熊野町
竹森祐太郎
2011 年国際学部卒



竹宝堂

COOK & DINE HAYAMA

神奈川県三浦郡葉山町
山口壮一
1987 年経済学部卒



COOK & DINE HAYAMA

ラーメン清六家本部

茨城県つくば市
大関虎之介
2013 年経済学部卒



清六家本部

鶴屋菓子舗

佐賀県佐賀市
堤 光昌
1970 年経済学部卒



鶴屋菓子舗

小坂酒造場

岐阜県美濃市
小坂善紀
1987 年経済学部卒



小坂酒造場

渡辺パイル織物

愛媛県今治市
渡邊文雄
2015 年経済学部卒



渡辺パイル織物

出塚水産

北海道紋別市
出塚容啓
1985 年経済学部卒



出塚水産

ジャグスポーツ！

群馬県利根郡
みなかみ町
狩野 淳
1998 年経済学部卒



ジャグスポーツ

和田龍酒造

長野県上田市
和田澄夫・直子
1988 年経済学部 / 文学部卒



和田龍酒造

やきとり「とみふく」・らーめん「ゆっちゃん」

岩手県盛岡市
森 雅之
1986 年仏文学科卒



とみふく・ゆっちゃん

若石足療ショアブレイク

神奈川県茅ヶ崎市
高野芳男
1969 年高校卒



若石足療ショアブレイク

(出店社は2021年6月現在・五十音順で掲載)

明学ストリート

OPEN!

全国各地に広がる明治学院同窓生が関わる名産品・お店・銘酒・宿などの情報を発信するサイト「明学ストリート」がオープンいたしました。明学同窓生同志のコミュニケーションを深めるツールとしてご活用ください。
今号では、サイトへ掲載するまでの流れをご案内いたします。

同窓会
インフォメーション

Dosokai
Information

1

まずチラシの裏面(ご紹介シート)にご記入ください。

ご紹介者は、チラシ裏面の「ご紹介シート」に必要な事項をご記入いただき、同窓会事務局へ FAX でお送りください。紹介者経由でなく、同窓生ご自身がお申し込みになる場合も、この「ご紹介シート」にご記入いただき、同様に事務局へ FAX でお送り下さい。

※チラシは同窓会ホームページからダウンロードできます。

【チラシ表面】



【チラシ裏面】

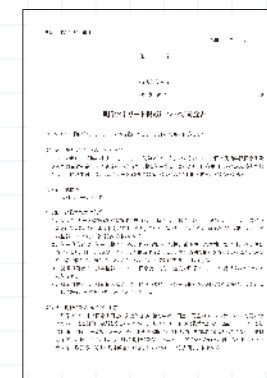


2

ご紹介いただいた同窓生に事務局からご連絡いたします。

事務局より「ご紹介会社情報」に記載されている同窓生に、ご連絡をいたします。その後「掲載情報に関する同意書」(PDF または印刷物)と「明学ストリート 情報シート」(Excel データまたは印刷物)をメールまたは郵便でお送りいたします。

【掲載情報に関する同意書】



【明学ストリート 情報シート】



3

「同意書」にご同意いただけた方は「情報シート」をご提出ください。

「掲載情報に関する同意書」にご同意いただけた方は、「明学ストリート 情報シート」に必要な事項を入力(Excelデータ)またはご記入(印刷物)いただき、「同意書」と共にメールか郵送で事務局へお送りください。

4

事務局からレイアウトの校正をお送りいたします。

お送りいただいた掲載内容を同窓会事務局で審査をいたします。掲載内容に問題がないことを確認した後、レイアウトをして校正用PDFまたは校正紙をメールまたは郵便でお送りいたします。レイアウトをご確認いただいた後、「明学ストリート」に掲載いたします。

同窓会

インフォメーション

Dosokai
Information

支部紹介

BRANCH

毎号、全国・海外にある支部を順次ご紹介しています。今号は、秋田県支部、東京港・目黒支部、広島県支部です。それぞれが情報交換の場として独自の企画・イベントを開き、皆さん楽しんでいらっしゃいます。



01

秋田県支部

02

東京港・目黒支部

03

広島県支部

▶ 明治学院同窓会支部はこちら
http://meigaku-dosokai.ji/?page_id=5

02

東京港・目黒支部



中田 孝彦
 東京港・目黒支部長
 (1975年 経済学科卒業)

東京港・目黒支部は、明治学院のお膝元である港区・目黒区の2区在住・在勤の同窓生を中心に、2013年7月に支部を設立、本年度8年を迎えます。現在支部には約2300名の同窓生があり、2018年11月より永野豊前支部長から禪を受け継ぎました。支部活動の基本である同窓生の親睦と相互協力は年一回の支部総会・懇親会そしてクリスマス会で、毎年30〜40名の同窓生が集まりますが、残念ながら2019年7月の支部総会・親睦会とクリスマス会開催を最後に以降は新型コロナウイルス禍により中止せざるを得

ず、支部の同窓生の皆様には大変に失礼を致しております。厳しい時期ではありますが、事態が好転する様になればと願いつつ、常に支部の同窓生に喜ばれ、お一人でも多く同窓生が参加し易く、タイムリーな企画を考えて開催に向け準備をしまいる所存です。同窓生の親睦と相互協力を旨に明治学院のお膝元の支部として活動してまいります。



03

広島県支部



青木 博
 広島県支部長
 (1976年 フランス文学科卒業)

広島県支部は、会員数550名あまりで、広島県在住や在勤の方を中心に「会員相互の交流促進を図る」を旗印に活動しています。会員は主に福山市を中心とした県東部と広島市を中心とした県西部に分かれています。年に一度の総会や「ふるさと企画」として県内の名所巡りや随時開催のミニ同窓会を開催し、会員の交流を図ってきました。また元支部長の山崎莞爾先輩を事務局長に、現役の若手同窓生を中心に「明治学院広島交流会」も開催されております。



7月に開催の定例総会は、残念ながらコロナ禍の影響で昨年、今年と中止せざるを得ませんでしたが、特に昨年、オリンピック開催に合わせた創立60周年記念総会は幹事一同張り切って準備していただけに中止となり誠に残念でした。早く60周年総会が開催できることを祈っております。

直近の総会(2019年開催)は30名ほどが集まり、総会後の懇親会で参加者が持ち寄った物品でのオークションや一分間自己紹介などで大いに盛り上がり、二次会も盛況でした。

当支部に毎回多くの方から賛助金を賜り、厚くお礼申し上げます。

01

秋田県支部



石岡 和志
 秋田県支部長
 (1988年 法律学科卒業)

秋田県支部は総勢二百数十名が在籍し、他の支部と比較して会員数が少ない支部です。例年は6月中旬〜下旬に支部総会を開催し、会員同士の交流を図ってきました。

しかし、昨年はコロナ感染症の防止のため支部総会は中止致しました。今年は落ち着くと思っていたのですが、まだまだ感染が収束しないので、支部総会の開催は厳しいものとなりそうです。

掲載された写真は2018年の支部総会のもので、この年は数年に一度の校友会が秋田市で開催することになった。

たので、支部総会も同日に開催しました。校友会終了後には懇親会も行われ、楽しいひと時を過ごしました。今後も支部活動が続け、支部会員同士の交流を図ってきたいと考えています。



※2018年支部総会



東京都板橋区出身、豊島区内の高等学校を経て、1975年経済学部経済学科を卒業し、今年めでたくも古希を迎えた。霞が関官庁街のN省を定年まで勤め上げ、縁あってS県JAに再就職（3年間）し、はじめて単身生活を経験した。今は独立行政法人（非常勤）で平成生まれの若い世代と伴に仕事に励んでいる。

昭和世代の独り言…！

菊地 正美（75年経済学科卒）



役人時代は、深夜帰宅や日曜出勤など日常茶飯事であった。そんな中、ゴルフに夢中になり、月例会で適当なスコアを出しては自己満足し、ストレス解消のひとつとしていた。現役時代後半にはFIFAワールドカップに夢中になっていた息子の影響もあって、親子二人サッカー観戦や世界遺産巡りなどに毎年出かけた。息子が結婚後、私一人の世界遺産巡りはじまった（写真左）。これは日常を忘れさせ、心身共にリフレッシュすることができた。

仕事や人事関係で精神的にボロボロ状態になった時期があり、何とか立て直しを図ろうと思いついていたときに、同僚が健康管理のために100kmマラソンにチャレンジしているという話を聞き、私も休日の早朝、河川敷で軽いジョギングを始めた。走行距離やタイムなど備忘録を付けているうちに10kmがスムーズに走行できるようになり、1年も経たないうちにハーフマラソンにチャレンジできる体力もついて、近県のハーフマラソン大会に参加した。また再就職先では県下フルマラソン大会に初参加。これが予想に反し完走

できた。元仕事仲間のマラソンサークルメンバーとの情報交換（実質懇親会）や彼らと伴に地方大会への参戦で年相応のタイムも確保できるようになり、マラソン人生が一転する。

三年前の人間ドッグで不整脈があると分かり、S国際病院（循環器内科）で検査の結果、脳梗塞の原因となる心房細動があり、放置できないとのことだったので、カテーテルアブレーション治療を受けた。治療は平均より3時間ほど長く、5時間以上を要した。術後は適度な運動は問題ないとのことだったが、マラソンは残念ながらここで引退することにした。今は毎日1万歩を目途に早朝3km、昼休みに日比谷公園周辺、帰宅時は霞が関から大手町までの適当な距離を雨の日以外は歩くことを心掛けている。

同窓生とは定期



明学で いい友^{とも}



2021年4月からスタートした新企画「明学でいい友（とも）」。
毎回お二人の同窓生にご登場いただき、
在学中のこと、卒業してからのこと、そして現在のことを語っていただきます。

情けは人のためならず

内川 洋子（73年英文学科卒）



1969年4月、明治学院大学の教会入学式は、田舎育ちで公立校出身の私にはとても新鮮な感動を覚えました。在学時、八王子の大学セミナーハウスでクリスマスソングを歌いながらキャンドルサービスをした事が良い思い出です。休講の時はクラスメイト達と学食でソフトクリームを食べながら談笑した時の皆の笑顔が懐かしく思い出されます。

学友Nがロンドン大学留学中に、友人E子さんと二人でイギリスを個人旅行できたのはラッキーでした。Nのサポートで長距離バスを予約し、翌日2時間の乗車後、知人の英国人シャロンの住むチェルトナムへ、そして彼女の運転する車でコッツウォルズへ。見渡す限り黄色いマスタートードの花の丘陵地帯を通り、バインブリー村では100年前と変わらない佇まいのスワンホテルなどの美しい景色を堪能しました。

仕事の他にNGO日本民衆交流センターの「ダルニー奨学金」活動で、東南アジアの子ども達に奨学金支援を続けました。1980年当時、経済的貧困で学校に行けない子供たちにせめて読み書き計算がで



る義務教育（タイ中学3年、ラオス小学4年まで）の支援です。子ども達が義務教育を受ける事で正規の賃金をもらい、自立し、貧困から抜け出すことができるようにと。高度経済成長の真つただ中、貧しくて教育を受けられない人は仕事がなく、望まなくても性産業に都合よく利用されていました。

2001年8月、大洪水で田畑が水浸しになったタイ東北部のイサーンへの学校訪問は特別印象に残っています。訪問先の学校での歓迎会や奨学生との面談会、村での民泊等、質素ながらも心のこもった歓迎と感謝に恐縮したほどでした。元奨学生のプライさんとの交

流（写真左）は現在も手紙で続いています。三児の母として働きながら決して豊ではないのに今では彼女が支援者となって活動しています。ヘボン博士の理念Do For Othersだと思っています。

リタイヤ後は、複音ハーモニカで「ジューピター」などの曲をソロで「夜霧のしのび逢い」や「コンドルは飛んでいく」などをアンサンブル（四重奏）で演奏し、施設慰問や発表会などをして楽しんでいます。

園芸も大好きな趣味で、種から野菜の苗を育成し、野菜くずなどで堆肥を作り栽培しています。ミニ菜園ですが、小さな実をつけ始めたミニトマトやジャガイモの世話をして植物からもエールをもらっている日々です。

次は菊地 正美さん（75年経済学科卒）に「たすき」を渡します。

